

MorphoSysのファージディスプレイ人工抗体ライブラリから得られた抗体を用いて、ウシおよびヒツジのTLR2の機能を解析

<概要>

イギリス動物衛生研究所のKwongらは、MorphoSys社の人工抗体ライブラリHuCALから抗TLR2抗体を作製し、その機能を解析して報告しています。

TLRは自然免疫システムの中で非常に重要な役割を担っていると考えられ、その機能解析が積極的に行われています。一方で、TLRに対する特異的な抗体に限られることから、TLR特異的な抗体の作製が望まれていました。今回、著者らはHuCALを用いてウシのTLR2に対して抗体作製を行いました。その結果、細胞表層に提示されたTLR2の特異的な検出が可能であることを示し、機能解析の上での重要性を示しています。また、今回得られた抗体はヒツジのTLR2にも交差することが示され、これまで種間を越えた解析が困難であったところに非常に有用な研究用ツールを提供できたことを報告しています。

これらの結果は、HuCAL抗体が種差を越えた標的分子の機能解析において有望であることを示しています。

<本研究成果は以下の論文にて報告されています。>

AbD MorphoSys Published Reference

Characterisation of antibodies to bovine toll-like receptor(TLR)-2 and cross-reactivity with ovine TLR2.

Veterinary Immunology and Immunopathology. 2011 Feb 15; 139(2-4): 313-318

Lai Shan Kwong, et al.

《以下のサイトから論文リストがご覧いただけます》

<http://www.abdserotec.com/hucal-monoclonals/hucal-references.html>

《続々報告予定》